



東北の落葉樹林

さくらそう展

サクラソウ咲く景色、ふたたび

2013

4/20(土) - 4/29(月・祝)

国立科学博物館 筑波実験植物園

9時～16時30分(入園は16時まで)会期中は無休

さくらそう展

サクラソウ咲く景色、ふたたび

かつては日本各地で春先にピンク色の可愛らしい花を咲かせていたサクラソウも、現在は絶滅危惧植物に指定されています。身近で愛されてきた野生種が起源となり、これまで多くの園芸品種が作られてきました。以前のようなサクラソウが咲く景色を求め、各地で地道な保全努力が続けられており、最近では新たに見つかったサクラソウ自生地の保全対策も行われ始めています。今年のさくらそう展では、野生サクラソウの保全の現状を紹介するとともに、筑波大学が保有する園芸品種の中から100品種以上を展示します。



九州の草原



関東の低湿地



東北の落葉樹林



関東の河川敷

—関連イベント—

〈講演会〉

「サクラソウ野生集団の保全」
4/27 (土) 13:30~15:00
講師：吉田康子 (神戸大学)
定員：40名 (予約不要)

※13:20に教育棟にご集合下さい。

〈展示案内〉

各日とも 13:30~14:30
4/20 (土) 大澤 良 (筑波大学)
4/21 (日) 水田 大輝 (筑波大学)
4/28 (日) 半田 高 (明治大学)
4/29 (月・祝) 水田 大輝 (筑波大学)

※13:30に教育棟にご集合下さい。

〈サクラソウの販売〉

9:30~16:00
会期中全日
なくなり次第終了
栽培カレンダー無料配布



筑波大学農林技術センター

—筑波実験植物園と筑波大学とサクラソウの話—

筑波実験植物園は、「植物多様性を知る、守る、伝える」を目標に、様々な活動を行っています。植物の保全を行うためには、研究によって植物の特性や実体を知り、栽培保存によって守り、それらを多くの方に伝えることがとても重要で、植物園の大切な役割でもあります。筑波大学で行われているサクラソウのプロジェクトは、確実な栽培保存のもと、精力的な研究によって十分な知見が得られている優れた事例です。筑波実験植物園は、この成果を多くの方に「伝える」ことが、とても意義のあることと考え、毎年この企画展を共同開催しています。



桜草花壇

国立科学博物館 筑波実験植物園

<http://www.tb.g.kahaku.go.jp/>

〔入園料〕一般300円 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその引率1名様は無料

4/21 (日) はオープンラボのため入園無料

〔所在地〕〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL 029-851-5159 FAX029-853-8998

□自動車
常磐自動車道桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km 無料駐車場120台

□電車・バスで

つくば方面へのアクセス

つくばエクスプレス線「秋葉原駅」から「つくば駅」へ(快速利用で45分)

東京駅(八重洲南口)から高速バスにて「つくばセンター」へ(約60分)

つくば駅(つくばセンターバスターミナル)からのアクセス※

つくば駅隣接つくばセンターバスターミナルより関東鉄道バス(約5分・160円)

①5番乗り場:テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩2分

②6番乗り場:筑波大学循環(左回り)「天久保二丁目」下車徒歩8分

※路線バス時刻表

9	平日		土日祝	
	10	0 55		
11				
12				
13			20	
14	0			
15				

9	平日		土日祝	
	10	30 50	0	40
11	10	30 50	0	40
12	10	30 50	0	40
13	10	30 50	0	40
14	10	30 50	0	40
15	10	30 50	0	40

